
叶わぬ恋の物語

Happy AandS

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

叶わぬ恋の物語

【Nコード】

N93460

【作者名】

Happy And S

【あらすじ】

白猫と主人の叶わぬ恋の物語

ある日、生まれた5匹の猫

その内の 2匹は

少し大きくなった頃

貰われて いきました。

残っていた 3匹は 桜公園という

公園に捨てられてしまいました。

桜 公園には 人が あまり通らない場所で

仕事に 疲れた 男の人が

3匹の猫を見つけ

家で 飼い始めました。

拾ってくれた 飼い主〃主人

主人に 懐いたのは 白猫で主人も 白猫を

一番 大事に していました。

主人は 桜公園で 拾った ということで 白猫の 名前を 桜と

つけました。

主人には 奥さんがいた。

拾われた 3匹の 猫のうち

2匹は 主人の 知り合いに もらわれていきました。

毎日 白猫は 主人の 帰りを待ち

夜には 色んな話を聞き 一緒に 歌い

いつしか 主人の 様子が 変わった。

苦しむ姿を 見るようになる

白猫の 桜は一生懸命 励ました。

苦しむ 姿が おさまり

安心して 過ごしていた ある日。

主人は 倒れてました。

白猫は 急いで 主人の 奥さんに 伝えに行き

大事には いたらず しばらく 安静にということになりました。

ずっと 白猫の桜は傍を離れず楽しかった日々を語り続けた

しかし 次第に 主人の元気は なくなり

最後には 話もできなくなった。

白猫は 悲しんで

何も 食べずに 苦しみ 続けた。

ある日 黒猫 が白猫の傍に近づき 桜を助けた。

必死に

それは あの日 白猫が 主人にしたように

しばらくたった ある日

白猫は 安心 したように 笑うようになった。

あの日 主人と 過ごしたように そして

黒猫と幸せに 暮らし始めたのでした

END

（後書き）

二十歳の時に書いた作品です。

白猫は拾ってくれた主人のことがとても大好きでした。

けれど、主人は人間　猫は猫なのでずっと傍にはいられません。

この物語の場合は、主人が病気でなくなってしまいう話になりました。

主人を失くし、悲しみにくれる白猫を助けた黒猫は白猫が

主人にしたように寄り添い、見守り続けたことで、

白猫の心を開き新しい気持が生まれ

本来の猫である幸せを手にできたのです。もし黒猫が現れなければ

白猫は死んでしまったと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9346o/>

叶わぬ恋の物語

2010年11月15日18時00分発行